

學生勸誡通信

1968.7.1 東京教育大學 學生公議

全学又トヘの拵矣||本館封鎖毛

樹古防工也

教育大の全ての学友諸君！
我々は三十九日の文部省学生大会が、庄園的多数を以て本館封鎖
を決議し、ストライキ斗争の新たなる段階に突入したことを喜び
して聲をかきたい。

教育大の全ての学友讀書！
ほんは三十九日の文部省生
とて説し、ストライキ斗争の
して整意したい。

全ての二つの選考諸君！
我々は、昨日のストライキ斗争の慘めな敗北の中から、如何移動
阻止斗争に最終的に結着をつけるものは、我々自身の力の強化以外にはない。そして、ストライキ斗争を強化してねがい限り
現行の文部省規則そのものを縮小に向かへ云是なることを
教訓化する必要があるし、それは、すでに封館封校の過度の実現
として具體化されていく。

二十九日の文部省学生大会に於いて、「本館封鎖反対」のみを方
針として提起した日執行部・民青系諸君の運は、今や完ぶなき
までに粉砕され、破産してしまつてゐる。マルジョア社長に於ける大學とは、自己は何物といふ、凡そ

た眼鏡にあらえ。文部省の多數の房が敗北して困難な前書の道筋を逆撃したことを、我々はヨイの筋的転換として高く評価すらと同時に、この困難の道筋本體を封鎖して守り抜くという決意を全学友の前に明らかにして、今こそ全この学生が我々の戦利に参加せんことを訴える。
豈反論哉！ 我々は、この渦波移転が果する物理的移動の問題でもなく、また、八年后といふ「将来」の問題でもないことを強調

藝術的立場を取る者も現れ、その中には「藝術的立場を取る者」の立場を取る者も現れる。この立場は、如何に把握し、現在のストライキ斗争を具体的な闘争として如何に強化していくのか、という方向性を主に意識させ、事らしさ、パリワードや「本館封鎖」という過激なり力的斗争は「いやだ」、「ソニタム」などと連携させていくことによって「要求」（これが七民音系諸君のいわく「諸要求の一つなのである」）をもつた学生に依頼する。一方で、よって自らの「勢力」を維持しようとしてきた、まさにそのことによって審観的には、出世斗争の勝利的前途を妨げて、そこから逃げた結果内々けで全く活躍しないためである。

たに對する態度を示す。しかし、その已經編の現存の日本文部省附編は、その基本的立場に照合した大学の帝国主義的改編として進行していることを、再び認めておればならない。

従つて、当然に我々の斗いは何故でも政治に移転しなければ、それは、それでよいといつものではなくしてなく、現実に我々に対しより改進こそ責任として大學の帝国主義的改編の策動を強めつつ、現状大昔及び教育制度總体への反対なら更に、アーリジード社会、經濟、政治制度總体への批判、反対へと永続化せしめらるものとして設立される必要がある。換設移転斗争の中に問題が、多種多様なものとなり、主導的立場の云々、大別新

「本會は年々義理から全學を、大體全面占領を通じ、對評議會文、六、二〇の調査と討伐、走白紙都回を追求する中れど、全學的この如く斗争抑壓者として統治に奮闘するところまでさるい状況に追いつ込まれてゐる。

老翁曰是子諱也子諱也

現在の日本の二三の、いかにも日本的の直譯風の言葉の中に、高
度化していくところでも、少しきりと想認しておく必要がある。
兵効隊等へも始めてさまである彈圧を一切ハキ逃し、バリケ

木村博士の死後、その遺言を隨時にうち固めておつらうではないか。木村博士は死後、本館圖書室で一晩ぐらゐ、「このことこそが教育大革命のヨイの支えとなり、今ままでハモリ道を切り開く動力となりうるものだ。」学長、圖書室は日本の出版的力を中心にして、完全に屈服せしめ、大衆団體勝利的に併合される。

成すものであり、政府又は都督の戦略目標となつてゐるのだ。マルジョア社会といふ、史的階級的規定性を授与した。ある

高等學校の「大學自治」は、眞理の大學「大學自治」に對する大學生の改革運動が、大學演劇共同演行デオロギーの中に不斷に随ち込む危険性をもつてゐることは云うまでもない。これは、このような主義を成る諸君が、「成る民エラメ」の中から「大學の自治」を抽象化し、それを美化する上に、現實せに於いても、それが有効性をもつくるものと錯覚しているからに他ならない。

二のうちで主張が成る議論が、既定民主主義の中から、大学の「自治」を抽象化し、そのを美化する所とも、現儀せに於いても、それが個別性をもつるものと錯覚しているからに他ならぬ。しかし、我々は、個別改良斗争するもか、平和と民主主義の枠の中で相手の譲歩をねらつていいへといふ運動構造から明確に袂別せざるをえない憤りにある。いくつこそ、我々の共通の認証としてあらねばならぬ。先き述べたとく、「現状大学批判」のみならず、その裏支える既定的體制リタルジア社会に対するストレーベルの批判へ突き進むことこそが、斗争主体をして其の斗争主体たらしめるのである。